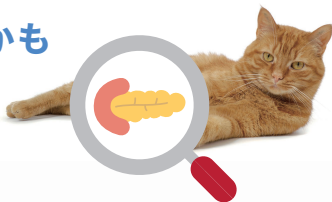


どこか元気のない
猫はすい炎かも
しれません。



すい炎の早期発見に役立つ検査をご紹介します。

すい臓から血中に漏れ出した消化酵素を検出する検査 猫腓特異的リパーゼ検査

どんな検査ですか？

猫のすい臓（腓臓）に特異的なリパーゼを検出する検査です。
リパーゼはすい臓から分泌され、消化管内で脂肪を分解する消化酵素です。すい炎ではこのリパーゼが血中に漏れ出すため、検出することがすい炎の診断に役立ちます。

この検査は何に役立つの？

- すい炎の症状は他の病気との区別が難しいことが多く、この検査を行うことで早期発見につながります。
- 治療による病状の変化のモニターにも役立ちます。



検査は痛くないの？

少しの血液を採血するだけで猫の体にほとんど負担がかかりません。

猫腓特異的リパーゼ検査の種類：

- 迅速に高値 / 正常がわかる院内検査キットによる検査
- 結果が数値でわかる検査センターによる検査

すい炎の診断は猫腓特異的リパーゼ検査に加え、その他の血液検査、画像検査等で総合的に行います。



すい炎はどんな病気？

すい臓に炎症がおき、すい臓から分泌される消化液で臓器自身やまわりの脂肪、組織が溶かされてしまうなど、すい臓がダメージを受ける怖い病気です。猫は慢性型が多くみられ、早期発見による適切な対処が大切です。

猫のすい炎はどのくらい発生しているの？

病院に来院した6歳以上の猫で、臨床症状（食欲不振、元気消失、脱水、体重減少、嘔吐、下痢）が認められる112頭についてスナップ・fPL検査を実施したところ、高値（すい炎の可能性）が認められたものが**34.8%**（39件）でした。すい炎は今まで考えられていたより多い病気であることがわかってきています。

2015年 アイデックス ラボラトリーズ株式会社調べ。協力: 19動物病院